

平成28年度 国立大雪青少年交流の家 教育事業・研修支援事業等自己点検・評価表

※ 自己点検の評価 S:特に優れた実績を上げた

A:目標を達成できた,あるいは目標を上回る実績を上げた(達成度が100%以上)

B:目標は達成されなかったが,目標達成に近い実績を上げた(達成度が70%以上100%未満)

C:目標が達成されなかった,また,目標達成に向けた実績も不十分であった(達成度が70%未満)

項目	番号	内 容	運営計画参照	自己評価
取 り 組 む べ き 事 項	1	利用促進及び広報活動方針に関すること	運営計画別紙2-1	
	1-1	利用者数の確保		S
	1-2	稼働率の確保		S
	1-3	利用促進月間(10月・11月・2月)を設定した青少年団体への利用促進		A
	1-4	近隣市町村商工会議所と連携した利用促進		A
	1-5	施設業務運営委員会との協働による特別企画事業の実施		A
	1-6	利用者数および利用団体数の増減原因の分析に基づき広報活動の効果的な展開		A
	2	研修支援に関すること		
	2-1	「施設の研修支援等に関する自己採点表」の達成度の向上		A
	2-2	研修支援団体への活動プログラム支援のあり方の見直し		A
	2-3	活動コース等の安全管理・活動プログラムの危機管理対策の整備を通じた教育環境の整備		A
	3	広報活動の充実に関すること		
	3-1	職員一芸選択プログラムの見直し		A
	3-2	利用団体アンケート「パンフレットやホームページなど事前の情報提供」における満足度		A
	事 業 部 会	1	教育事業等の企画運営に関すること	運営計画別紙2-2
1-1		企業や民間団体等各機関と連携した事業の実施	3事業以上の実施	S
1-2		全ての教育事業で募集定員を充足させる	全ての教育事業での定員の確保	B
1-3		全ての教育事業の募集開始を5週間前に実施する。	全ての教育事業で実施	B
1-4		企画段階から関係機関・団体等との検討委員会を実施	1事業以上の実施	S
1-5		青少年教育指導者等の養成事業における資質の向上	指導者養成事業において毎年 定員の20%以上の評価を 生活の森に関する普及啓 発 事業の実施	A
1-6		リレーションシップ事業を活用した「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進		A
1-7		幼児期の遊びを中心とした運動プログラムの推進	5か所以上の出前事業実施	A
1-8		「体験の風をおこそう」運動の普及啓発	道内全ての市町村のエントリー	A
2		連携促進事業に関すること		
2-1	北海道青少年教育施設協議会と連携した研修会の実施	青少年教育施設職員の資質 向上のための研修会を実施	A	
2-2	各市町村教育委員会等と連携した体験活動・生活習慣・読書習慣定着の取組や事業の実施	取組みへの参画	A	
管 理 運 営 部 会	1	50周年記念事業に向けた事業計画及び寄附金獲得に関すること	運営計画別紙2-3	
	1-1	開所50周年記念事業における予算計画の策定		A
	1-2	寄附金獲得の実現		S
	2	受益者負担の適正化に関すること		
	2-1	受益者負担の適正化,自己収入の確保に関し,バス燃料費,プール使用料に係る経費等の導入を検討		A
	3	施設・設備の長期計画(施設マスタープラン)の策定に関すること		
	3-1	施設・設備の具体的な将来計画の策定を実施		C
会	4	ナショナルセンターの職員として,高い倫理観・使命感を兼ね備えた人材の育成に関すること		
	4-1	人材育成基本研修の内容を見直し,適切な時期に,効果的・効率的な研修の実施		A